

## 平成26年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<p>①様々な体験や世代・領域を超えた多くの人との出会いの場の提供と積極的な活用                  ②生徒の可能性を引き出し、能力を最大限に伸ばすことのできる教員・生徒間の信頼関係の醸成                  ③学習不振、学校不適応、発達障害など特別に支援の必要な生徒についての日常的な情報交換と組織的対応                  ④ホームページ・中学校訪問などを通じた的確で迅速な情報発信                  ⑤安全で快適な教育環境の整備                  ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスの徹底</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導	<p>①65分授業の充実</p> <p>②個々の生徒に応じた学習指導法の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教員が自身の教科指導力を高め、授業改善を図る。</li> <li>・生徒の多様化に対応した適切な学習指導や学習活動を行い、生徒が主体的に学習する姿勢を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間指導計画並びに実施表」を活用して学習指導計画を綿密に立てることができた。さらなる改善を目指したい。</li> <li>・「授業感想アンケート」については、教科ごとに結果を出し、その結果を来年度の指導計画に反映させていく。</li> <li>・生徒の家庭学習時間が減少傾向である。学年会、教科会等において、家庭学習時間確保のための対応策の検討を行っていく必要がある。</li> <li>・問題意識を教員間で共有し、各教科で教材や指導法を工夫して学習指導を行った。引き続き、具体的な対応策の検討を行っていきたい。</li> </ul>
生徒指導	<p>①基本的な生活習慣の確立</p> <p>②安全確保の推進</p> <p>③教育相談の推進</p> <p>④公共でのマナーの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席、遅刻、早退の理由を把握し、適切な指導を行う。</li> <li>・高校生らしい身だしなみを日常的に意識させるようにする。</li> <li>・生徒の安全を考え、組織的に対応する。</li> <li>・生徒に交通安全に対する意識を高めさせる。</li> <li>・予防的な教育相談活動に取り組む。</li> <li>・不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応を図る。</li> <li>・公共でのマナーの意識を高めさせる。</li> <li>・あいさつの励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席、遅刻、早退の状況を把握し、遅刻過多者に対して指導を行ったが、遅刻総数は昨年度を上回った。</li> <li>・学年会との連携を図ることができた。</li> <li>・遅刻の多発が想定される時期は、集中的に指導を実施した。多少の効果があつたが、歴然とした効果は得られなかった。</li> <li>・身だしなみ指導期間を設定して生徒の自覚を促し、組織的に指導に当たることができた。</li> <li>・防犯マニュアルを利用して、組織的な対応を図った。</li> <li>・交通安全、交通マナーについて、各クラスでのLTや全校集会を通じて生徒に呼びかけた。</li> <li>・職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行った。</li> <li>・生徒交通委員作成による安全マップを校内に掲示し、交通安全を呼びかけた。</li> <li>・クレペリン検査等を通して予防的な教育相談活動を研究し、集団としての精神健康度の向上を図った。</li> <li>・生徒の精神的健康状況や不適応生徒について、職員に対して理解を深めた。</li> <li>・スクールカウンセラーとの連携を図り、生徒の精神的ケアに努めることができた。</li> <li>・学年会、保健部との連携により、不適応生徒の状況を職員と共有できた。今後は、多種多様な生徒が増えることが考えられることから、より密な連携が必要である。</li> <li>・公共の場でのマナー、特に自転車のマナーについては安全確保の面と併せて指導した。</li> <li>・あいさつの必要性和励行について呼びかけた。多少の改善は見られたが、継続した指導が必要である。</li> </ul>

進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路選択能力の育成</li> <li>②進路に応じた進路設計</li> <li>③進路目標の堅持と幅広い視野の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談、進路相談の充実</li> <li>・適切な資料提示</li> <li>・進路検討会・入試情報交換会の充実</li> <li>・新課程入試対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路アンケート、生徒面談、進路検討会等を通して、継続的な進路指導ができ、職員間の共通認識を図った。また視野を広げさせ、より高い志望を持たせるよう指導した。</li> <li>・進路のしおりを発行し、生徒の進路意識を高めた。</li> <li>・各種説明会・見学会を実施し、OBの意見を聞く機会を増やすことができた。</li> </ul>
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①部活動の充実</li> <li>②生徒の力で作り上げる生徒会行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧問会議と部長会議の有効活用をする。</li> <li>・生徒会執行部を中心とした指導体制の確立。</li> <li>・生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総体尾張予選で男子が優勝し、各部の努力の結果を示すことができた。また、弓道部、水泳部、陸上部が東海大会出場することができた。</li> <li>・執行部への立候補も多く、期日通りに成立した執行部は積極的に行事に取り組み、各委員会とも協働し、充実した学校祭、予餞会を行うことができた。</li> <li>・各種行事に生徒が主体的、積極的に取り組み、アンケートでもそれを裏付ける結果が得られた。</li> </ul>
学校図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>①図書館の利用機会、利用者数、年間貸出冊数の増加</li> <li>②生徒図書委員会の活性化</li> <li>③図書館の環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、LT等での図書館利用をアピールし、広報活動を充実させる。</li> <li>・活動内容の徹底を図り、新企画を模索する。</li> <li>・図書を利用、管理しやすいよう館内の環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動としては「図書館たより」（毎月）、「新着図書案内」（随時）を発行し、図書館の利用、書籍の貸し出し、図書館行事への参加を呼びかけることはできた。しかし、年間貸出冊数は昨年度より少し減少した。</li> <li>・図書館行事を見直し、今年度は「読書会」の代わりに「ビブリオバトル」を開催した。初めての行事であったが、大いに盛り上がり、好評を博した。</li> <li>・開架のすべて書籍にバーコードをつけることができ、管理しやすくなった。書庫の古い書籍も廃棄を進めている。</li> <li>・書架の配置を換え、利用しやすいよう館内を整備した。</li> </ul>
学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>①美化活動の充実</li> <li>②環境問題への取り組みの充実</li> <li>③保健・安全教育の充実</li> <li>④保健安全指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の清掃活動特別清掃の充実を図る。</li> <li>・ゴミの分別、減量、リサイクルを徹底させる。</li> <li>・生徒保健委員会活動の充実</li> <li>・心身の健康や安全指導の充実</li> <li>・健康観察の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常清掃、特別清掃（校内外美化活動、スノコ清掃、側溝清掃）ともに職員・生徒の協力のもと計画通り実施できた。</li> <li>・文化祭の当日清掃については、生徒会と協力して実施した。</li> <li>・少数ではあるが年間を通して、ゴミ捨てマナーに反する状況が見受けられた。ゴミの分別、減量、リサイクルの意識をより一層高めるように指導していきたい。</li> <li>・定期的な委員会活動を目指して、生徒による保健便りの発刊、上水道の水質検査などを行っている。特に夏季は熱中症予防、冬季は感染症予防のための広報活動に力を入れ活動した。</li> <li>・美化係をつくり、主体的に働くよう指導した。保健委員がゴミ処理の状況を把握ができるように指導し、その結果を踏まえて、2学期の終業式で保健委員長が生徒全体に訴えかけた。今後も、より積極的に活動できるように指導していきたい。</li> <li>・エビペンの使用について、職員の講習会を実施した。</li> <li>・熱中症について、職員会議で共通理解を持った。</li> <li>・部活動部長・マネージャー、体育祭の群団長を対象に熱中症を中心とした安全講習会を実施し、一定の効果を上げることができた。</li> <li>・生徒の心身の問題を早期発見・把握するため健康観察を具現化し、その流れを明確にした。欠席連続3日・感染症・入院について、わかり次第担任が報告することとしたが、連絡が無い場合があった。</li> <li>・学年会との情報交換により、保健室に来室しない生徒の把握が可能になり、こちらからアプローチすること</li> </ul>

			<p>ができた。来年度も継続していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S C ・生徒指導部の相談係との連携をより密にして、生徒への対応を迅速に行えるようにしたい。</li> </ul>
ファッション創造科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門的知識・技術の習得</li> <li>② 創造力・実践力の育成</li> <li>③ 地域社会に貢献する人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファッションや保育に関する専門的知識・技術を習得させる。</li> <li>・ 豊かなライフスタイルを創造する能力や実践力を育成する。</li> <li>・ 地域社会が求める資質や能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファッションや保育の分野の専門性を高め、特に子どもの文化コースにおいては、教材の精選、検定資格取得、保育現場での実践力向上に努めた。</li> <li>・ 各コースにおいての特色を活かし、物作りの楽しさ、創造・実践する喜び等の体験を通して生徒自身の自信につながり成果を得ている。</li> <li>・ 「あいちさんフェスタ in 一宮」では、3年生中心のステージ発表等での活躍により地域への発信力を高め、インターンシップでは就業体験の機会を得て職業選択の目を養い、卒業研究発表会では3年間の実践結果を披露する等、生徒の資質や能力の向上を図った。</li> </ul>
総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 広報活動の充実</li> <li>② 防災意識の向上</li> <li>③ 学校と保護者の協力体制の充実</li> <li>④ 文書の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの内容充実</li> <li>・ 防災教育の研究と実践</li> <li>・ P T A との情報交換</li> <li>・ 古い文書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ掲載までの手順を明確にして、迅速で担当者の負担が少ない内容更新とした。今後は更新回数をさらに増やすことを検討したい。</li> <li>・ 防災避難訓練の内容を再検討した。また、あいちシェイクアウトに参加するなどして生徒の減災意識の啓発に努めた。</li> <li>・ P T A 理事会ごとに保護者の意見を伺い、それに対して回答することで、情報の共有や学校側の考えを理解していただく機会とした。</li> <li>・ ある程度の古い文書は破棄したが、次年度も継続していく予定である。</li> </ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎学力の涵養と仲間と切磋琢磨する経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能動的な学習法の確立</li> <li>・ 人間関係の構築</li> <li>・ 学びの環境整備</li> <li>・ 基本的習慣の早期定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週末課題、長期休業中の課題提出はほとんどの生徒が期限を守っているが、その定着度に上位層と下位層の差がついている。上位層では自ら積極的に難問に挑戦する生徒を増やすこと、下位層では継続的な学習習慣を身につけることが課題である。</li> <li>・ 素直で話がしっかり聞ける生徒が多く、清掃活動、行事では生徒を信頼して委ねることができる。</li> <li>・ 今後とも、集団として個人としての生徒指導に学年団の協力のもとに取り組みたい。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「逞しい心身の育成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マナーの向上</li> <li>・ 学習と部活動の両立</li> <li>・ 具体的進路目標の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生らしい生活、マナーが確立されてきた。指導される場面においても素直に聞くことができている。</li> <li>・ 学習と部活動の両立の度合いはまちまちであり、成績上位者は概ね両立できているが成績下位者は両立に苦慮している。精神的に苦しいところもあるので気をつけなければいけない。</li> <li>・ 進路に対する意識はずいぶん高まってきたが、個々をみると高低の差がある。意識の低い生徒について早急に手当をしていかなければならない。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路目標の実現と将来の社会人としての基盤の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路志望の設定と実現</li> <li>・ 社会人としての基盤の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度当初はあやふやな生徒も進路アンケートや面談などを通して進路目標を設定できるようになった。控え目な志望の生徒が目立つが、目標実現に向けて真摯に努力する生徒が増えていった。</li> <li>・ マナーについて指導する機会は多くはなかったが、指導に素直に従う生徒が多かった。また、入学当初から遅刻が少ない状況が続いている。</li> </ul>
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的方策に対する取組は、前年度の評価結果に基づいて全体として改善が図られているが、成果としてはまだ不十分なものがあるので、来年度に向けて問題点を整理し、検討していく必要がある。</li> </ul>	